

令和4年5月30日

PTA 会員各位

渋谷区立笹塚中学校
PTA 会長 菅原 良昭
教 養 委 員 会

* 教養便り *

<講演会・研修会等参加報告 第1号>

「道徳授業地区公開講座」に出席しましたのでご報告いたします。

.....

豊かな学校生活を送るために

日 時：5月14日（土） 10：45～11：35

.....

三年生「ぼくにもこんなよいところがある」

<要約>

生徒作文を題材に、自分の個性や長所を見つめなおす。

題材の内容

自分の真面目さが良くないこと、危険なことではないかと考える生徒が、クラスメイトからの自分への評価を通じて、自分の個性を良いところとして認められるように心境が変化するとともに、異なる他人の個性に対しても前向きに捉えることができるようになった。

授業の流れ

冒頭に「自分の良いところ」を挙げる問いがあり、その時点では「わからない」という回答が多かった。

題材と同様に、班のメンバーの良いところをお互いに挙げて確認した。最後に改めて「自分の良いところ」を考えた。

<感想>

他人と比較して劣等感を抱いたり、他人との違いに戸惑うことは大人でもありますが、今回の題材のように一般的には長所や問題ないと思える部分も、ネガティブに捉えてしまうことはあるのだと思いました。

中学三年生は最高学年としての役割や受験を前にして、その違いが表面化しやすい時期でもあり、気持ちの余裕を持ちづらい時期ではないかと思えます。これから自信を無くしたり、不安になることもあると思いますが、その時に今回の「自分のよいところ」を思い出してほしいと思いました。

一方で、保護者として振り返ると子供の「改善すべき部分」ばかり気にして指摘しがちで、良い部分を散えて言葉にすることはあまりできていないなと反省しました。

一年生

<要約>

クラスみんなが自由に過ごしているイラストを見て、その中からいじめを見つけ、なぜそれはいじめなのかについて話し合う。

授業の流れ

まずは個人でいじめだと思うものにチェックを入れ、その後班に分かれてどこがいじめなのか話し合う。同じことをしていても、それがいじめにあたるのかの見極めが難しい。いじめとは肉体的ないじめと精神的ないじめがあり、それらを見て見ぬふりをすることもそれにあたるということが話し合われた。

<感想>

いじめは身近にある問題ですし、前々からとても注目されている内容なので、日々、何がいけないことなのかの認識を共有することができたと思うので、このような授業を定期的にする事はとても有用だと感じました。

令和4年5月30日

PTA 会員各位

渋谷区立笹塚中学校
PTA 会長 菅原 良昭
教 養 委 員 会

* 教養便り *

<講演会・研修会等参加報告 第2号>
講演会に出席しましたのでご報告いたします。

.....
子どもの自己肯定力を高めるには

日 時：5月14日（土） 11：45～12：40
会 場：視聴覚室
講 師：臨床心理士 小井土 園枝氏
.....

<内容>

自己肯定感を高めるための3つのポイント

① 指示型と尊重型

指 示 型…「これをして」などを伝えて周りと同じ事が出来るようにする。（小学4年生頃まで）

尊 重 型…「あなたはどう思う？」と子供の意見と自分の考えを出し合い、お互いの考えを尊重する。（思春期以降から大人まで）⇒家族の中での居場所を感じる

② 理由追求型と目標追求型

理由追求型…「どうしてそういうことをしたのか」「なぜ学校に行かないのか」など理由を掘り下げていくが、大人になってから本来の理由がわかってくる事が多いため、一年毎に理由が変わったりする。

目標追求型…「～してみたい(本人)」「～になってほしい(大人)」を目標とし、細分化させる。小さな目標から「ここまでできた」という達成感が自信に繋がっていく。オープンダイアログ（下記参照）を使い、進めた部分を共有化する。⇒自己肯定感が高まる

③ 声かけ

結果評価…98点のテストに対し「頑張った、でもあと2点」「残念だった、次頑張ろう」などの結果だけを評価することは避ける。

経緯評価…そこに到達するまでのプロセスを認めて評価をする。⇒プラスの声かけに変わる

※オープンダイアログについて

「福祉士なら、カウンセラーなら、医者なら、親なら、自分なら、～が出来る」というように色々な立場から意見を出し合い、どんなフォローが出来るか、どう助けられるかを考えていくこと

<感想>

◎冒頭で「大人（親）が真剣に子供に向き合っていれば必ず良い方向にいきます」とおっしゃっていて、カウンセラーとして多くの親子と関わっていらした小井土先生の、経験に裏打ちされた力強いお言葉が印象的でした。すぐに実践できそうな内容で、今後、子ども達との接し方に活かしていこうと思いました。

◎一番心に残ったのは、マイナスの声かけをしないということ。同じ事を言うのでも、褒めた後に、でもこれができなかったよね、と言ってしまうとマイナスの言葉だけが残ってしまうという点です。最後に言われた言葉が強く残り否定されたと受け取ってしまうとのこと。親と子という関係でも個人を尊重して子供と関わっていきたいと思います。